

## 2-7 水道料金

### (1) 水道料金の仕組みの認知度

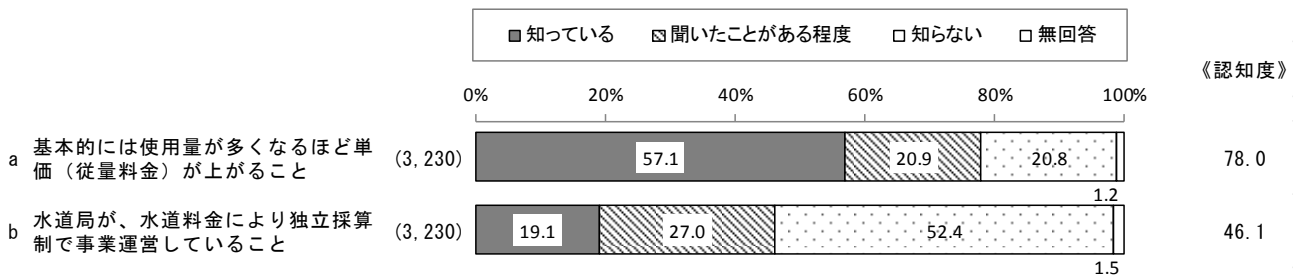
問15 水道料金の仕組みについて、ご存知ですか。次のa～bについて、「3 知っている」～「1 知らない」の中から**1つ選び**、番号に○をつけてください。

a、b それぞれ横に回答してください。

	認知度		
	知っている	聞いたことがある程度	知らない
<b>※ 記入例</b>	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>1</b>
a 基本的には使用量が多くなるほど単価（従量料金）が上がること	3	2	1
b 水道局が、水道料金により独立採算制で事業運営していること	3	2	1

### [調査結果]

水道料金の仕組みの認知度（全体）〈図表2-7-1〉



### 〈特徴〉

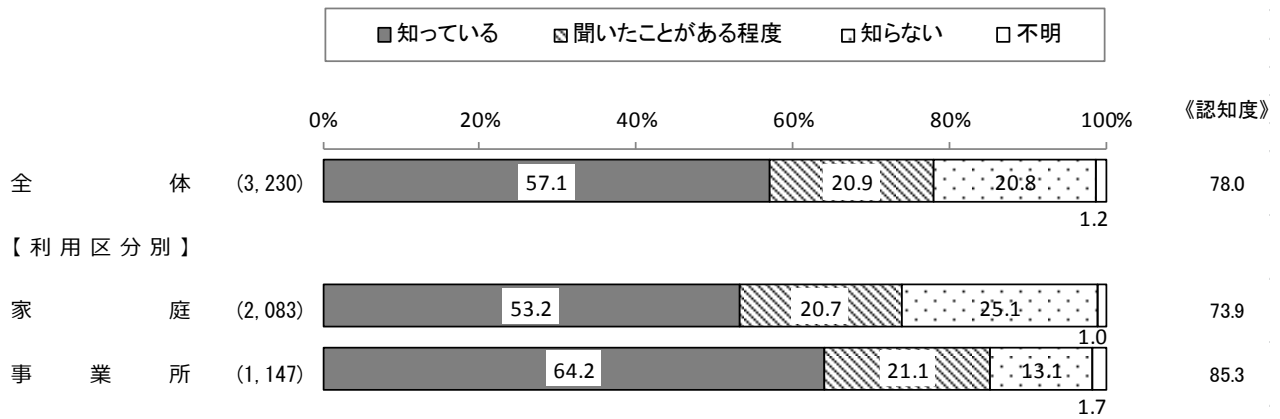
○全体では、《認知度》は、「基本的には使用量が多くなるほど単価（従量料金）が上がること」（78.0%）の方が、「水道局が、水道料金により独立採算制で事業運営していること」（46.1%）よりも高くなっている。

i) a 基本的には使用量が多くなるほど単価（従量料金）が上がること

[調査結果]

① 「a 基本的には使用量が多くなるほど単価（従量料金）が上がること」（利用区分別）

〈図表 2-7-2〉

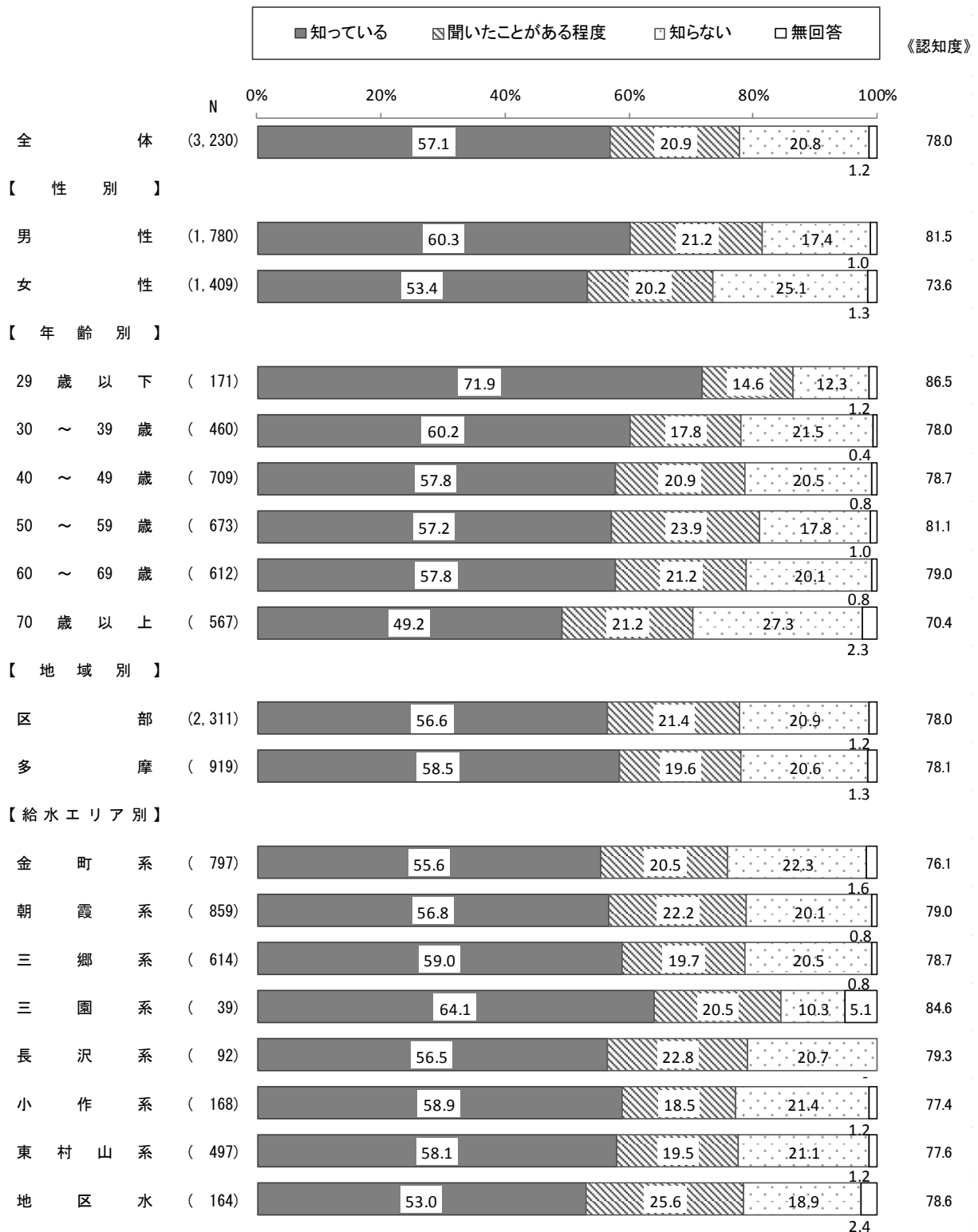


〈特徴〉

○利用区分別では、《認知度》は、事業所（85.3%）の方が家庭（73.9%）より11.4ポイント高くなっている。

② 「a 基本的には使用量が多くなるほど単価（従量料金）が上がること」（属性別、給水エリア別）

〈図表2-7-3〉

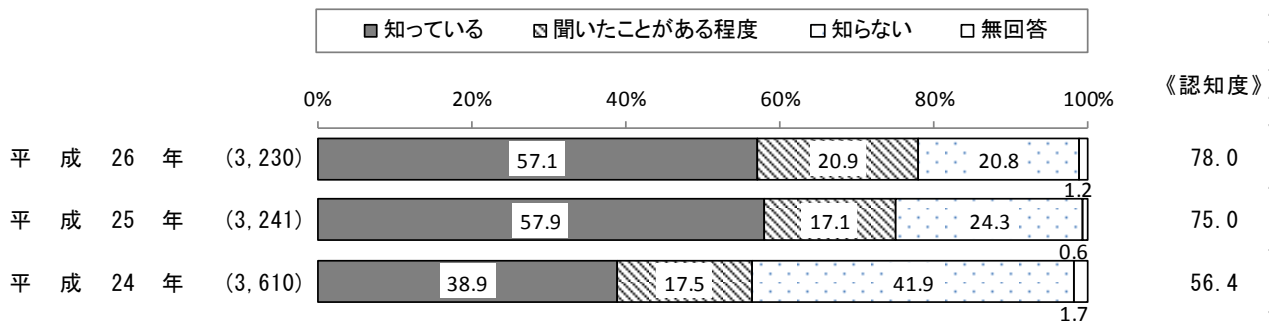


〈特徴〉

- 年齢別に《認知度》を見ると、29歳以下（86.5%）が最も高く、70歳以上（70.4%）が最も低くなっている。
- 給水エリア別では、《認知度》は各エリアともほぼ8割に近い数値となっている中で、三園系（84.6%）が8割を超えて最も高くなっている。

③ 「a 基本的には使用量が多くなるほど単価（従量料金）が上がること」（時系列：全体）

〈図表2-7-4〉

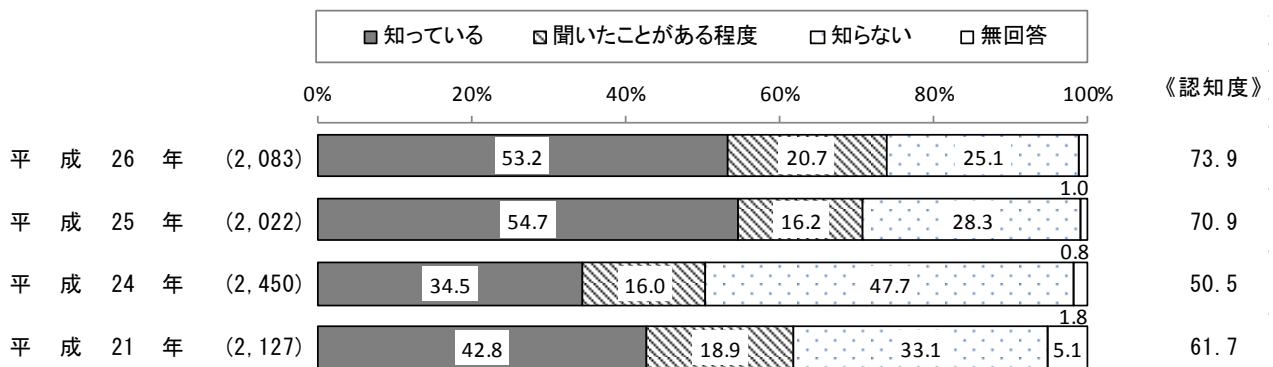


〈特徴〉

○時系列（全体）でみると、《認知度》は今回調査（78.0%）が平成25年度調査（75.0%）を3.0ポイント上回っており、7割以上を維持している。

④ 「a 基本的には使用量が多くなるほど単価（従量料金）が上がること」（時系列：家庭のみ）

〈図表2-7-5〉



〈特徴〉

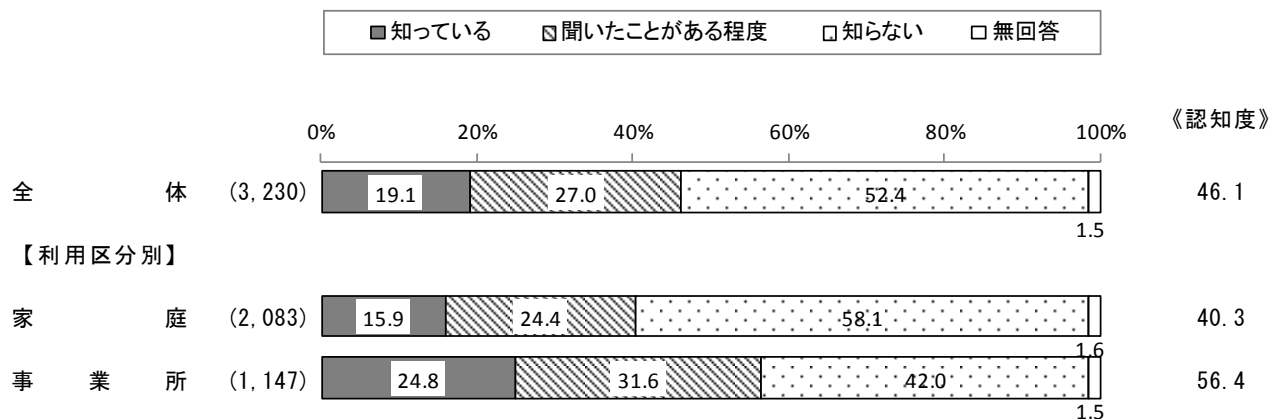
○時系列（家庭のみ）では、《認知度》は、今回調査（73.9%）が平成25年度調査（70.9%）を3.0ポイント上回っている。

ii) b 水道局が、水道料金により独立採算制で事業運営していること

[調査結果]

① 「b 水道局が、水道料金により独立採算制で事業運営していること」(利用区分別)

<図表2-7-6>

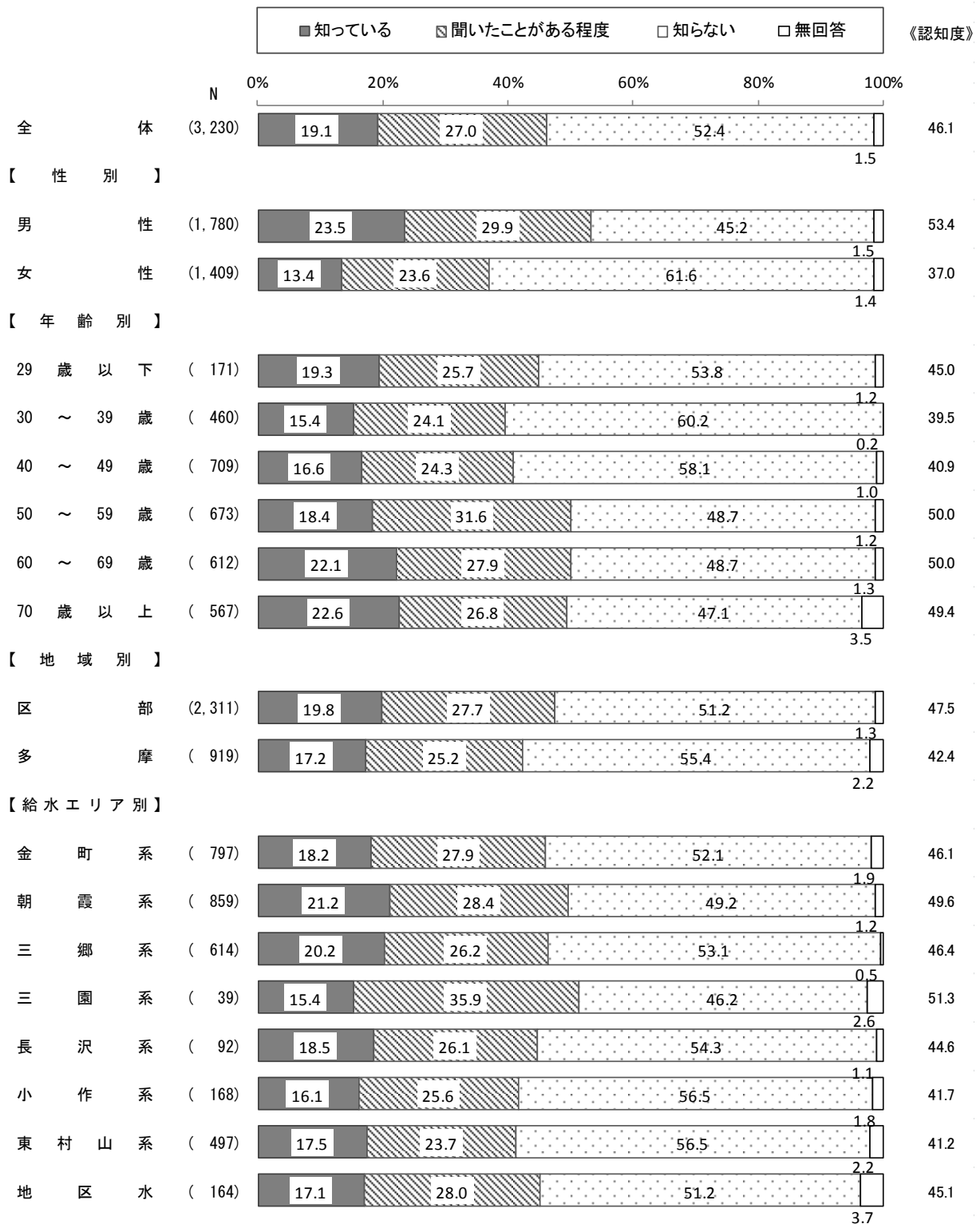


<特徴>

○利用区分別では、《認知度》は、事業所(56.4%)が家庭(40.3%)より16.1ポイント高くなっている。

② 「b 水道局が、水道料金により独立採算制で事業運営していること」(属性別、給水エリア別)

〈図表2-7-7〉



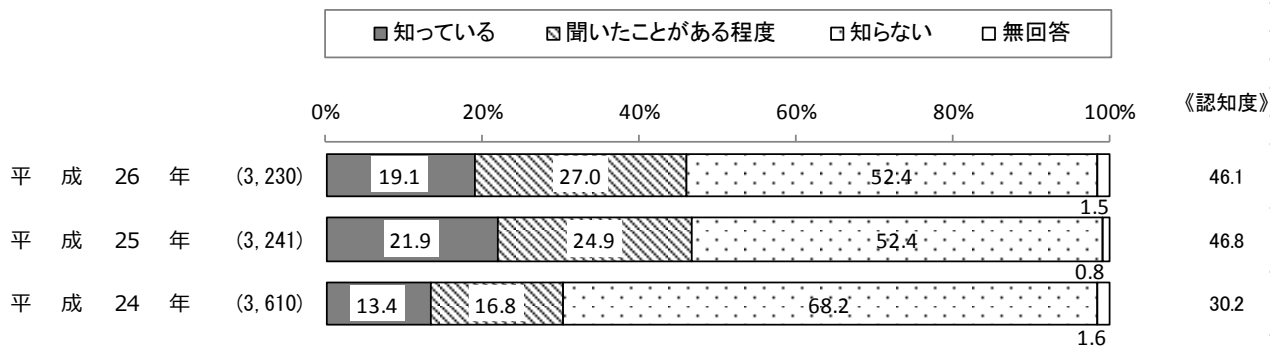
〈特徴〉

○年齢別では、《認知度》は、50～59歳（50.0%）、60～69歳（50.0%）及び70歳以上（49.4%）で高くなっている。一方、「知らない」は30～39歳（60.2%）で最も高くなっているほか、40～49歳（58.1%）でも高い。

○給水エリア別では、ほとんどのエリアで《認知度》が5割に届かない中であって、唯一三園系（51.3%）が5割を上回って最も高くなっている。

③ 「b 水道局が、水道料金により独立採算制で事業運営していること」(時系列：全体)

〈図表2-7-8〉

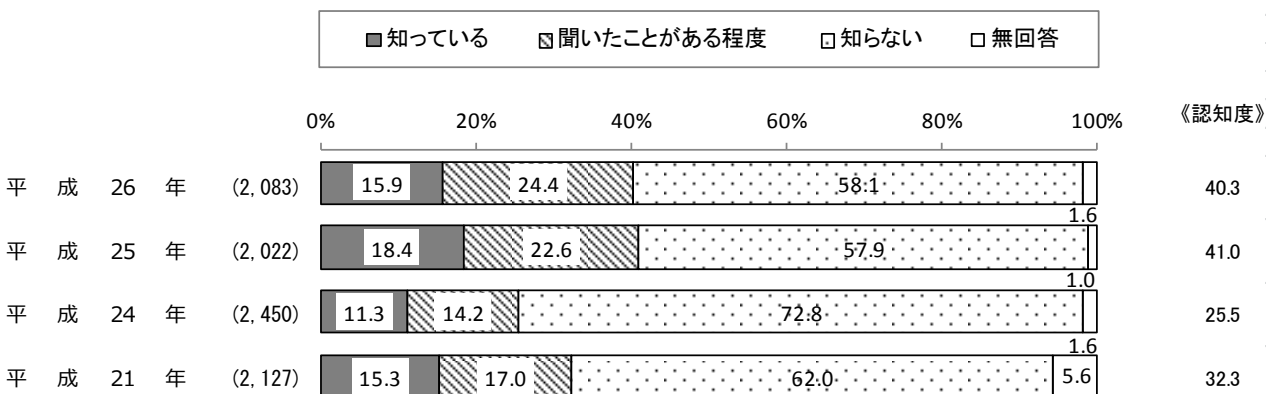


〈特徴〉

○時系列(全体)では、今回の調査の《認知度》は46.1%で、平成25年度調査(46.8%)とほぼ同レベルである。

④ 「b 水道局が、水道料金により独立採算制で事業運営していること」(時系列：家庭のみ)

〈図表2-7-9〉



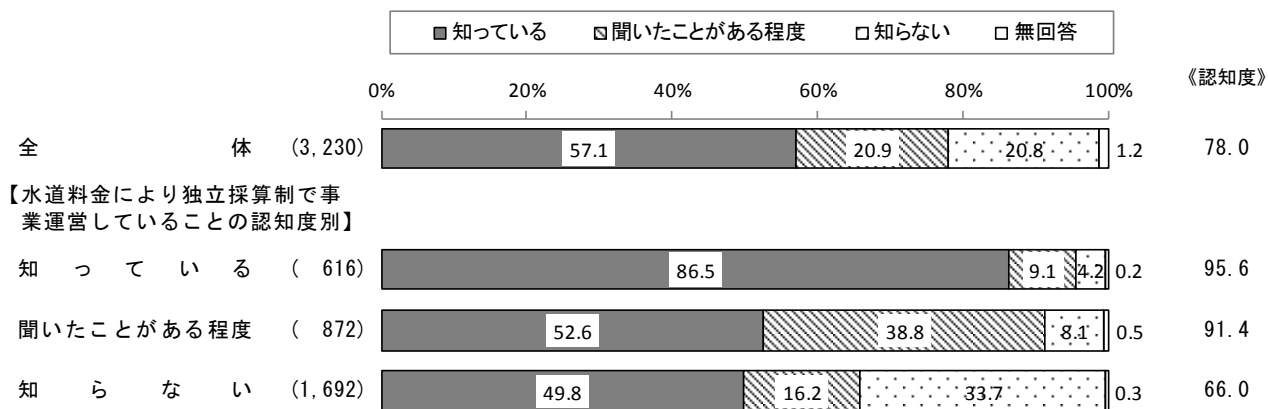
〈特徴〉

○時系列(家庭のみ)でも、《認知度》は、今回の調査(40.3%)は、平成25年度調査(41.0%)とほぼ同レベルであり、横ばいとなっている。

[詳細分析]

水道局が、水道料金により独立採算制で事業運営していることの認知度と基本的には使用量が多くなるほど単価（従量料金）が上がることの認知度<図表2-7-10>

○水道料金が、基本的には使用量が多くなるほど単価（従量料金）が上がることの認知度について、水道局が水道料金により独立採算制で事業運営していることの認知度別でみた。



<特徴>

○独立採算制での事業運営を「知っている」人では、使用量が多くなるほど単価（従量料金）が上がることを「知っている」と回答した人が86.5%、「聞いたことがある程度」を合わせた《認知度》は95.6%と非常に高い。一方、独立採算制を「知らない」人で従量料金制を「知っている」人は49.8%、「聞いたことがある程度」を合わせても66.0%に止まっており、大きな差がみられる。